



# ふれあい 自然教室

## FUREAI SHIZEN KYOSHITSU

府中市教育委員会では、義務教育9年間を通じた小・中学校での宿泊行事の充実を図っています。

令和5年度から、府中市立中学校では、全ての中学校で1泊2日の宿泊行事として「ふれあい自然教室」を実施しています。

この「ふれあい自然教室」では、中学校におけるよりよい人間関係づくりを目的としており、学習の基盤や、教員と生徒、生徒同士の信頼関係を築くため、1年生の1学期の早い時期に実施しています。





## 2 「集団活動」の大切さについて教えてください。

近年、子供たちの生活体験の不足や人間関係の希薄化、好ましい人間関係が築きにくいということが、課題の一つとして挙げられ、その問題の背景として、自然体験や集団活動の機会の不足などがあるとされています。

自然体験や集団活動の機会は、少子化、都市化、情報化等の社会の変化により減ってきており、集団行動を避ける子供や、集団の一員としての自覚や責任を十分認識できず、社会性ある適切な行動がとれない子供の増加が懸念されています。

学校の教育活動では、集団での活動を基本としており、様々な人との関わりや、集団で行動することで得られる成就感・達成感等を通じて、集団活動の意義を学び、集団を維持するために自らを律する精神や、子供たちの社会性を育てることを大切にしています。



## 3 どうして1年生の1学期に宿泊行事を実施するのですか。



府中市には、11校の市立中学校があり、市内の複数の小学校から生徒が進学してきます。また、中学校入学の時期に、他の自治体からの転入してくる生徒もいます。

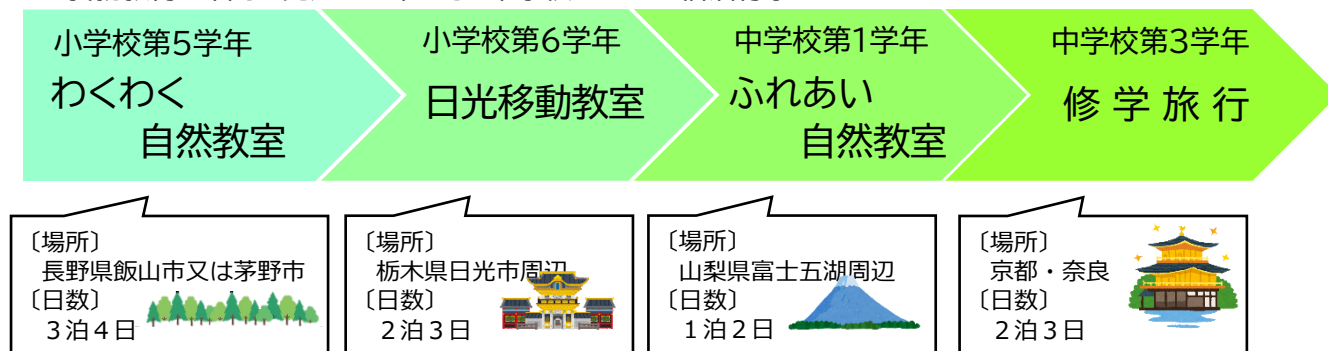
新しい友人との出会いや、学級担任制から教科担任制へ変わることなどで、小学校と比べて多くの先生が関わることなど、中学校生活のスタートに当たっては、新しい学校生活に対する期待と、その一方で、不安を感じている生徒も多いと考えています。

宿泊行事では、訪問先の特色ある自然環境に触れたり、普段、経験できないようなことを体験したりします。保護者のもとを離れての集団生活を1年生の1学期に実施し、様々な体験をすることで、生徒と教員、生徒同士、生徒と訪問先の人々との人間的な触れ合いを深め、生徒一人一人に、仲間と共有できる楽しい思い出を作ることを行なっています。また、集団生活を通じて、基本的な生活習慣やルールなどを学び、互いを思いやり、共に協力し合うことで、よりよい人間関係を築く機会とします。

## 4 「ふれあい自然教室」以外にも宿泊行事はありますか。

府中市では、義務教育9年間を見通した系統的な学びの機会として、次のとおり宿泊行事を実施しています。

▼義務教育9年間を見通した市立小・中学校における宿泊行事



(参考) 府中市教育委員会ホームページ「令和5年度以降の市立小・中学校における宿泊体験学習について」

〔発行・問合せ〕

府中市教育委員会教育部学務保健課  
指 導 室

電話 042 (335) 4435  
電話 042 (335) 4063

